

13162 保育実習Ⅱ Nursery School Education PracticumⅡ		3 年次～ 通年 2 単位	
担当者	飛田 隆／大畠 孝子	履修可能学科	Pc
		関 連 資 格	保育選必（P c）
サブタイトル	保育実習ⅠAを通して学んだ事をふまえた上で保育所における保育実習		
授業内容 ・ ねらい	保育実習ⅠAを通して学んだことや自己課題を明確にし、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。また、保育所における子育て支援のニーズにも触れて理解を深める。 1. 保育全般に参加し、保育の方法や技術を習得する。 2. 子どもの個人差を理解し対応方法を学ぶ。また年齢の違いによる発達を理解し年齢に応じた援助を理解する。 3. 発達に遅れがある子どもや生活環境にともなう多様な保育ニーズを理解し、その対応について学ぶ。 4. こどもの家庭とのコミュニケーションの方法を理解する。 5. 指導計画を立案し、準備や指導について実践を通して学ぶ。 6. 地域社会に対する理解を深め、連携の方法や支援のあり方について学ぶ。 7. 子どもの最善の利益への配慮を実践の中で学ぶ。 8. 保育士の職務内容を理解し、保育士としての職業倫理を学ぶ。 9. 保育実習から自己の課題を明確化させる。実習生としての責任を自覚し、ふさわしい態度を身に付け実践する。		
授業計画	(1)事前に細菌検査をすませる。 また、実習施設を事前に訪問し、オリエンテーションを受けること。『保育実習の手引き』を熟読しておくこと。 (2)事前指導 保育実習ⅠAを踏まえた自己課題の明確化、実習日誌指導案、実習についての意義等 (3)指定の11日間に保育所実習（保育実習Ⅱ）を行う。 実習の進め方に関しては実習施設の指示に従う。 (4)事後指導 実習での反省、課題、学んだことへの振り返り、実習先への礼状を出す。今後の課題の明確化。 レポート提出。		
教科書 参考書	必要に応じ、「事前・事後指導」の中で紹介する。		
評価方法	実習施設の評価及び実習日誌・実習終了後のレポート、授業への出席状況・態度等を総合的に判断する。		
事前準備学習 履修条件等	保育実習ⅠAの単位を履修済みであること。		